# アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.185/2022 年 6 月

---

## 【1】一種研開催報告

2022年6月の一種研を6月16日に開催しました．6月の研究会を機械振興会館で開催したのは2019年以来3年ぶりです．発表は一般講演5件およびIEEE AP-S Tokyo Chapter特別講演1件の合計6件でした．特別講演では「構造設計におけるデジタル技術の活用と異分野とのコラボレーションについて」と題して，(株)構造計画研究所の石塚広一氏より講演いただきました．

3Dスキャンを活用した耐震診断/改修，大規模建物の構造材質を考慮した電波伝搬解析など，デジタル技術と3次元数値解析を駆使した設計技術について解説いただきました．

写真1　現地会場の様子

研究会運営に関しては，ハイブリッド形式の研究会も6回目となり，手際よく準備でき，安定して開催できるようになりました．

## 【2】A･P研表彰報告

上記一種研の中で，A･P研の表彰式を行いました．受賞者の方々を以下に紹介します（敬称略）．受賞者の皆様，おめでとうございます!!

◆2021年度活性化貢献賞

木村雄樹君(埼玉大/日本電業工作)，本田和博君(富山大)，
塚田響君(新潟大)，西森健太郎君（新潟大），今井哲朗君(電機大)，グェンタインビン君(防衛大)

◆2021年度下期若手奨励賞･学生奨励賞

･若手奨励賞　田中勇気君(PSNRD)，坂本寛明君(三菱電機)，牛腸正則君（NICT）
･学生奨励賞　渡邉貴宣君(新潟大)，塚田響君(新潟大)，相馬敏樹君（千葉工大）

◆2021年度功労賞（敬称略）

北尾光司郎（NTT ドコモ），金ミンソク（新潟大），菅野一生（KDDI 総研），吉敷由起子（構造計画研究所），田中祥次（放送衛星システム），野口啓介（金沢工大），深沢徹（三菱電機），藤本孝文（長崎大），山岸傑（住友電工），石井 望（新潟大），西森健太郎（新潟大），今井哲朗（電機大），道下尚文（防衛大），井上祐樹（NTTドコモ），瀧川道生（三菱電機），山口 良（ソフトバンク），山本伸一（三菱電機），山田 渉（NTT），飴谷充隆（産総研），日景 隆（北大），松川沙弥果（産総研），今村浩一郎（NHK），長坂正史（NHK），平賀 健（NTT），齋藤健太郎（電機大），佐々木元晴（NTT），田端隆伸（小島プレス），中林寛暁（千葉工大），中本成洋（三菱電機），岩井誠人（同志社大），木村泰子（NTTドコモ），小林 敏幸（日本電業工作），笹森崇行（北海学園大），佐藤啓介（電気興業），浜田リラ（NICT），平部正司（NEC），有馬卓司（農工大）

写真2　表彰式の様子（功労賞受賞者）

活性化貢献賞は，対象期間に最も多く発表され，活性化に貢献いただいた方です．また，奨励賞は優秀発表として規定に基づき選出された方です．功労賞は委員会活動を通してA･P研の活動に貢献された方への賞です．

## 【3】第3回電波伝搬モデリングコンペティション結果報告

室内におけるMIMO伝送のチャネル容量を推定することを課題とした電波伝搬モデリングコンペティションが今年1月に開催されました．その後，厳密な審査の下，受賞者が決まりました．受賞者の方々を以下に紹介します（敬称略）．皆様，おめでとうございます!!

なお，6月A･P研表彰式に続いて本コンペティションの表彰式も行われました．

◆優秀賞　谷口諒太郎（NTT）（AP2021-145）
◆特別賞　與縄洋斗（同志社大）（AP2021-141），中村智陽（千葉工大）（AP2021-144）

## 【4】無線端末・アンテナシステム測定技術研究会(AMT研，第二種研究会)開催報告

2022年6月10日(金)に根室総合文化会館でAMT研究会が開催されました(実行委員長中野雅之氏)．11件の発表があり，そのうち，3件が依頼講演でした．参加者は33名(内オンライン18名)でした．これまで開催されたA・P研やAMT研の中では，北方四島を除く日本の最東での開催ではないかと思います．

また，翌11日(土)にはアンテナの歴史委員会と合同で根室市の落石無線電信局跡の見学会を実施しました．1908(明治41)年に開設され，立地条件としては航行する船舶にとって非常に好位置にありましたが，冬場に勤務する人にとっては過酷な環境だったそうです．

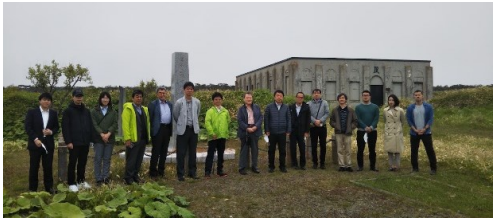

写真3　落石無線送信局跡

## 【5】A・P研執行部新任者の挨拶

2022年度のA・P研執行部および各委員会委員長は下記の体制となりました(敬称略)．

執行部　委員長：山田寛喜（新潟大）　　副委員長：藤元美俊(福井大)
幹事：道下尚文(防衛大)，紀平一成(三菱電機)　　幹事補佐：村上友規(NTT)
各委員会　WS常設：今井哲朗(電機大)，論文：木村雄一(埼玉大)，伝搬DB：岩井誠人(同志社大)，
アンテナの歴史：新井宏之（横浜国大)，表彰:高橋　徹（三菱電機)，国際：黒川　悟(産総研)

今回，新任の幹事および幹事補佐の挨拶をお送りします．

[紀平　幹事]

このたび，北尾様の後任として幹事を拝命いたしました三菱電機の紀平(きひら)と申します．これまで各種委員会やISAPなどの国際会議の委員を担当させていただいたことがありますが，幹事としてA・P研運営に携わる機会に恵まれ大変光栄に存じます．準備期間として微力ながらすでにお手伝いさせていただいておりますが，A・P研の活動に携わる方々の積極的，献身的な姿勢に身の引き締まる思いです．コロナ禍においてもA・P研はいち早く独自のハイブリッド配信方法を確立して活発な研究会活動を継続しておりますが，今後は対面での議論の充実など，さらなる活性化に少しでも貢献できるように努めてまいります．ご支援，ご指導のほどよろしくお願いいたします．

[村上　幹事補佐]

はじめまして，本年度からA・P研の幹事補佐をさせていただきます村上友規(むらかみともき)と申します．現在，NTTアクセスサービスシステム研究所に所属し，2030年代のネットワーク・情報処理基盤となるIOWN(Innovative Optical and Wireless Network)や第6世代移動通信システム(6G)に向けた研究開発を推進しております．幹事補佐としては，各研究会の運営サポートやホームページを通じたタイムリーな情報発信などの役割を早く覚えるとともに，A・P研の一層の活性化を目指して，ベテラン研究者と若手研究者がフランクにコミュニケーションできる研究会に導けたらと考えております．今後，至らない点も多々あるかと思いますが，A・P研関係者の皆様のご意見を伺いながら頑張りたいと思いますので，何卒よろしくお願い致します．

## 【6】副委員長の戯言

**◆突然ですが，クイズです．**

足し算，引き算の問題です．「3＋3＝6」．これは，一見，普通の足し算に見えます．ただし，「6+6＝9」で「0+0＝3」です．一方，「0-0＝-∞」です．では，「6-6」はいくつになるでしょう？　答えは，本ページの一番下に書いてあります．　※書きたい戯言ネタはあるのですが，今月も掲載しないといけない記事が多くて，あまり書けませんでした．

**〈問い合わせ先〉**
アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　　藤元美俊（福井大学）
E-mail：ap_ac-chair@mail.ieice.org (A・P研執行部のメールアドレス)
AP-NET：A・P研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はA・P研HPにて
A・P研HP：https://www.ieice.org/cs/ap/

[クイズの答え：「6-6＝-∞」です．単位をdBmにすれば分かります．]